

注目記事で壁新聞



記事を模造紙に貼り付け、壁新聞を作る生徒たち。姫路市広畑区の広畑中学校

新聞記者から編集のコツ学ぶ

新聞から関心がある記事を選び、意見交換しながら壁新聞を作る「まわしよみ新聞」の授業が9月29日、姫路市広畑区小松町3の広畑中学校であり、2年生170人が参加した。

広畑中2年生170人

体験学習



発行所

神戸新聞社

神戸市中央区東川崎町

1-5-7

郵便番号 650-8571

めぐる君
特報



▼神戸新聞



お試し購読は
こちらまで

神戸新聞NEXT

<https://www.kobe-np.co.jp/>

無断で複製・転載することを禁じます

神戸新聞は
地域とともに
もっといっしょに。

ぜひ新聞本紙も
お試しください。

「30班に分かれバラエティー豊かに」



講師の話を中心に聞く生徒たち

10月号の神戸新聞「写真ニュース」を使った。記事からは、コロナに翻弄(ほんろう)された、この半年の歩みが分かる。東京五輪パリンピックは大半が無観客開催という異例の大会だったが、日本勢が活躍した。米大リーグ、大谷翔平選手の活躍などの明るいニュースもあった。菅政権は約1年で幕引きとなった。

30班に分かれ記事を切り貼りし、感想を書き込み、カラフルでバラエティーに富んだ新聞を作り上げた。

神戸新聞NEX推進部の三好正文シニアアドバイザーが講師を務めた。まず、新聞の特長である網羅性や一覧性を知ってもらおうと、この日の神戸新聞朝刊の各方面から新型コロナ関連の記事を探すワークショップを行った。緊急事態宣言下、記事は40本を数えた。「まわしよみ新聞」作りには、今年4月

講師の話を中心に聞く生徒たち



なぜ、この記事を選んだか。プレゼンする生徒たち